

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	放課後デイサービス Conte		公表日		2026年 2月 28日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	工夫していると思う点・改善が必要と思われる点など	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	・落ち着いて勉強をする部屋、活動を行う部屋、作業スペースやクールダウンの部屋などを分けることで構造化を行い、子どもたちが過ごしやすいように部屋のスペースを十分にしている。	特になし	・宿題をする部屋、活動をする部屋などをわけ、十分なスペースを確保している。・用途に応じた部屋の使い分けもできるような適切なスペースがある。・利用人数に対して指導室の数は多く、スペースの確保は出来ている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	・個別で対応が出来るように意識し、職員の配置を行っている。その日の利用人数に対して、職員の配置を適切に行うことが出来ている。	特になし	・個別で対応が出来るように意識し、職員の配置を行っている。・その日の利用人数に対して、職員の配置を適切に行うことが出来ている。・利用人数、子どもたちの状況に対して適切に職員配置を行うことができています。・子どもの人数に対して、職員の配置は適切である。・研修や児童の状態によってはフルメンバーいるとよいと感じることはあります
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切にされているか。	3	1	・日々の会議で情報伝達・情報の共有を行い、目的別に部屋を分けて構造化を行うことが出来ている。・各部屋の使い方を子どもたちに掲示している。・建物が古いため、バリアフリーではなかったり、使い勝手が悪いこともあるが、問題に対しては対応を行っている。	目的別に構造化は出来ているが、段差などバリアフリー化ができていない箇所もある。現在建物の建て替えなど、改善に向けて対応を行っている。	・目的別に部屋を分けるなど、構造化を行うことが出来ている。・日々の会議で、情報伝達・情報の共有を行うことが出来ている。・目的別に部屋を分けたり、各部屋の使い方を子どもたちに掲示したりしている。設備等についても、情報共有を行い、変更がある場合はより詳細に周知している。・空間の構造化を行っているため、それぞれの目的に合わせて指導室も利用できている。建物が古いため、バリアフリーではなかったり、使い勝手が悪いこともあるが、問題に対しては対応を行っている。・わかりやすい区分けはできています。トイレが大きい子には少し小さいようです。(男性用)時計とスケジュールが同じ方向にあるとわかりやすいと感じます
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	・毎日掃除の時間をしっかりと確保することで、清潔で心地よく過ごせる環境を整えることができています。・子ども達の活動に合わせた空間を設けている。・指導室は活動内容によって使い分けしている。	特になし	・日々の掃除をしっかりと行うことで、清潔で心地よく過ごせる環境作りが出来ている。・毎日掃除を行い、危険な物は取り除くなど安全面にも注意して環境作りを行っている。製作スペース、学習スペースなど子どもたちが必要に応じて活動できる空間を設けている。・環境設定には気を配り、午前中は指導員、夕方は子どもたちと掃除を行っている。指導室は子どもたちが活動をしやすいように、活動に合わせて分けている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	・必要に応じて活動の部屋を分けるなど、環境作りが出来ている。・静かな環境で勉強に取り組める部屋、クールダウン部屋を設け、子どもの状態や様子に合わせて使い分けしている。	特になし	・必要に応じて活動の部屋を分けるなど、環境作りが出来ている。・個別に過ごせるように部屋を分けたり、その選択を子どもたちが安心してできるように職員が声掛けしたりしている。・学習室はパーテーションを設置しており、また、別にクールダウン部屋も設けている。子どもの状態や様子に合わせて事務室も開放出来るようにしている。・名称をつけて貼紙がある
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0	・業務改善係をつくり、会議や朝礼などで情報を共有する場を設けている。・職員間で情報共有を行った上で目標設定をし、定期的に振り返ることで改善出来るところはないか話し合っている。・ミーティングの際に「なぜなぜ分析」を取り入れている。	特になし	・業務改善係をつくり、会議や朝礼などで情報を共有する場を設けている。・研修を行い、全体で参加できる機会を設けることが出来ている。・職員間で情報共有を行った上で目標設定をし、定期的に振り返ることで改善出来るところはないか話し合っている。・ミーティングの際に「なぜなぜ分析」を取り入れている。・お互いに情報交換するやりとりがある
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・アンケートを実施し、結果についても話し合いを行い、全体で共有することで、改善に向けて協議出来ている。・評価表の内容を踏まえて改善したり、新しい事を導入している。	特になし	・アンケートを実施し、結果についても話し合いを行い、全体で共有することで、改善に向けて協議出来ている。・保護者向け評価表を配布し、その内容を踏まえて改善したり、新しいことを取り入れたりしている。・保護者からの意見は聞かせてもらっている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・業務改善ボックスをつくり、職員が意見を言える環境作りが出来ている。・毎朝の朝礼、週1回の合同ミーティングを行っており、意見を共有し改善に向けた協議が出来ている。・事業所内に「業務改善係」が設けられている。・月1で管理者が困っていることはないか聞いてくれる。	特になし	・業務改善ボックスをつくり、職員が意見を言える環境作りが出来ている。・日々の会議の中で、意見を共有し改善に向けた協議が出来ている。・子どもの様子や、それを見て環境面で改善できることが無いかなど毎日話し合い、決定事項があれば形にするためにより詳細に話を進めている。・毎朝の朝礼、週一での合同でのミーティングを行っている。また、事業所内に「業務改善係」が設けられている。・月1で管理者が困っていることはないか聞いてくれる
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	0	・研修などで第三者の評価をもらい、必要に応じて業務改善につなげている。・保護者や学校関係者からの評価結果を、職員間で共有し改善すべき点は話し合い等を行っている。	特になし	・研修などで第三者の意見を聞く機会を設け、必要に応じて改善している。・研修などを通じて第三者の方からの評価をいただくことで、改善に繋がっている。・保護者や学校関係者からの評価結果を、職員間で共有し改善すべき点は話し合い等を行っている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	・月1回の研修を実施し、研修後は報告書を提出し回覧することで、他の職員の意見も見られるようになっている。・研修の内容を踏まえて業務改善に繋がられるよう、研修で得た視点を会議や支援でも活用している。・月の第3土曜日は職員の研修の日となっている。	特になし	・月1回の研修を実施し、研修後は報告書を提出し回覧することで、他の職員の意見も見られるようになっている。・研修を受講し、その後は報告書を提出している。また、研修の内容を踏まえて業務改善に繋がられるよう、研修で得た視点を会議や支援でも活用している。・月の第3土曜日は職員の研修の日となっている。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	・日々の会議で支援についての共有と協議を行うことが出来ている。・定期的にプログラムし、ファイリングを行っている。	特になし	・日々の会議で支援についての共有と協議を行うことが出来ている。・日頃から支援に関する会議を行っている。・支援についての共有を会議などで行っている。・定期的にプログラムしファイリングしてくれている
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	・アセスメントを適切に行い、日々の会議のなかでも子どもの様子を伺いながら、客観的に分析を行い定期的な計画を作成できている。・アセスメント内容と職員間での会議の内容も踏まえて客観的な視点を持って放課後等デイサービス計画を作成している。・半年に1度保護者と「モニタリング」と「アセスメント」を行い、それをもとに個別支援計画書を作成している。	特になし	・アセスメントを適切に行い、日々の会議のなかでも子どもの様子を伺いながら、客観的に分析を行い計画を作成できている。・アセスメントを行い、職員間での会議の内容も踏まえて客観的な視点を持って放課後等デイサービス計画を作成している。・半年に1度保護者と「モニタリング」と「アセスメント」を行い、それをもとに個別支援計画書を作成している。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	・保護者からの聞き取り、日々の会議のなかでも職員の意見も伺い、共通理解のもとで協議を行うことが出来ている。・子どもの支援に関わる職員全体で共通理解の下、支援を行っている。・「特性確認シート」を用いて、指導員で個別支援会議を行っている。	特になし	・保護者からの聞き取りだけでなく、日々の会議のなかでも職員の意見も伺いながら、共通理解のもとで協議を行うことが出来ている。・子どもの支援に関わる職員全体で話し合い、共通理解の下で支援を行っている。・「特性確認シート」を用いて、指導員で個別支援会議を行っている
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	・日々の会議の中で支援計画の共有を行い、計画に沿った支援を行えるようになっている。・放課後等デイサービス計画を職員間で共有し、計画に沿った支援を行うための具体的な環境設定など子どもの状況に応じて改善している。	特になし	・日々の会議の中で支援計画の共有を行い、計画に沿った支援を行えるようになっている。・放課後等デイサービス計画を職員間で共有し、計画に沿った支援を行うための具体的な環境設定など子どもの状況に応じて改善している。・個人の計画書はどの職員でも閲覧できるように書庫に保管されている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	・日々の会議の中で、子どもたちの様子を職員全体で共有するなど、適切に確認を行うことが出来ている。	特になし	・日々の会議の中で、子どもたちの様子を職員全体で共有するなど、適切に確認を行うことが出来ている。・子どもたちの様子を職員全体で共有して適切に確認できている。・会議や個別支援会議等で、職員間で情報共有することが出来ている。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	・支援計画をつくる中で、アセスメントやモニタリングを適切に行い、5領域を踏まえたうえで、必要な支援に対する具体的な支援内容などを設定している。・放課後等デイサービス計画を踏まえ、具体的な支援の仕方について職員間で共有している。	特になし	・支援計画をつくる中で、アセスメントやモニタリングを適切に行い、内容を踏まえたうえで、必要な支援に対する具体的な支援内容などを設定している。・子どもの支援に必要な項目を適切に設定した放課後等デイサービス計画を踏まえ、具体的な支援の仕方について職員間で共有している。・アセスメントやモニタリングを行い、5領域などを踏まえ、必要な支援に対する具体的な支援内容を設定している。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	・子どもたちの意見も取り入れながら活動プログラムの立案を職員全体で行っている。・大きな行事は担当を決めてチームを作り、管理者も入り話し合いを行って進めている。	特になし	・日々の会議の中で、全体で行っている。・子どもたちの意見も取り入れながら活動プログラムの立案を職員全体で行っている。・大きな行事は担当を決めてチームを作り、管理者も入り話し合いを行って進めている。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	・5領域に基づいて活動プログラムが固定化しないように、少しずつステップアップしたり、メンバーを変更したりなど工夫している。・以前の活動の振り返り等を参考にしながら、職員間で話し合いをする場を設けている。	特になし	・5領域を意識して活動を考えることで、固定化しないように工夫を行うことが出来ている。・5領域に基づいて活動プログラムが固定化しないように、少しずつステップアップしたり、メンバーを変更したりなど工夫している。・職員間で話す場を持っている。また、以前の活動の振り返り等を参考にしている。・活動を先生方が交代で担当している	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	・月間の活動予定カレンダーや週案を作成し、様々な活動を行っている。・子どもたちの状況に応じて個別活動と集団活動の時間を調節している。	特になし	・月の予定カレンダーなど、子どもの状況に合わせて活動を合わせるなど工夫を行っている。・子どもたちの状況に応じて個別活動と集団活動の時間を調節している。・月間の活動予定カレンダーや週案を作成し、様々な活動を行っている。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	・前日に翌日の活動内容を確認し、一日の流れを確認している。事前に支援内容や役割分担の打合せを行った上で、子どもたちの状況を見て必要に応じて変更するなどしている。・朝礼で、その日の活動を全体で共有し、それぞれの役割を確認できている。	特になし	・前日に翌日の活動内容について共有し、一日の流れを確認している。・朝礼で、その日の活動を全体で共有し、それぞれの役割を確認できている。・事前に支援内容や役割分担の打合せを行った上で、子どもたちの状況を見て必要に応じて変更するなどしている。・朝礼時にその日の予定を把握している。また、気になる子どもの様子などを話し、それに沿った支援などの話している。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	・会議で支援の振り返りを行い、振り返りの内容は計画書やノートに残すことで、全体で共有出来るようになっている。・打合せをすることで、様々な視点から子どもの様子を捉え、支援に活かしている。・問題があった日には、状況や方針を確認している。	特になし	・会議で支援の振り返りを行い、振り返りの内容は計画書やノートに残すことで、全体で共有出来るようになっている。・打合せをすることで、様々な視点から子どもの様子を捉え、支援に活かしている。また、ノートに記録することで振り返りができるようになっている。・毎日ではないが、様子などで気になることがあれば情報共有を行っている。・問題があった日には、状況や方針を確認している	

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	・申し送りを行うことで、職員全員で情報の共有を行い、日々の会議で支援の検証・改善につなげている。 ・その日の利用児の個人記録を、保護者向けと事業所向けとを強いている。 ・デイルボを取り入れ、AIによりわかりやすくまとめられている。	特になし	・申し送りを行うことで、職員全員で情報の共有を行い、日々の会議で支援の検証・改善につなげることが出来ている。 ・記録を取り、職員間でその内容を共有することで、改善できることが無い会議している。 ・その日の利用児の個人記録を、保護者向けと事業所向けとを残している。 ・デイルボを取り入れ、AIによりわかりやすくまとめられている
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	・モニタリングを定期的に行い、計画の確認と見直しを行うことが出来ている。	特になし	・モニタリングを定期的に行い、計画の確認と見直しを行うことが出来ている。 ・定期的にモニタリングを行うことで、放課後等デイサービス計画の見直しができている。 ・年に2回のモニタリングを行い、計画の見直しを行っている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	4	0	・複数組み合わせさせて支援を行えるように意識し、支援を行うことが出来ている。 ・コンデでは、園庭に畑をつくり野菜を育てている。子どもたちそれぞれの興味に合わせて野菜を選び、種や肥料の買い出しも一緒にやるなどの活動を行っている。	特になし	・複数組み合わせさせて支援を行えるように意識し、支援を行うことが出来ている。 ・4つの基本活動を複数組み合わせさせて支援を行うことが出来ている。 ・コンデでは、園庭に畑をつくり野菜を育てている。子どもたちそれぞれの興味に合わせて野菜を選び、種や肥料の買い出しも一緒にやるなどの活動を行っている。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0	・子どもが主体となって動けるように、子どもの意見を聞きながら支援を行うなど、臨機応変に対応することを意識して支援を行うことが出来ている。 ・活動も選択肢を用意する等、自己決定できる環境を作ったり、子どもたちの意見を取り入れた活動内容の決定を行っている。	特になし	・子どもが主体となって動けるように、子どもの意見を聞きながら支援を行うなど、臨機応変に対応することを意識して支援を行うことが出来ている。 ・掃除場所を自分で選択するなど、自己決定できる環境を作ったり、子どもたちの意見を取り入れた活動内容の決定を行ったりしている。 ・子どもの意見を取り入れながら活動を行い、それぞれの子どもに合った支援を行うよう心がけている。 ・自由とわがままの違いが大切で、決められた状況・条件の中での決定権をうみだす力につなげられたらよいと感じます
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	・日々の活動の中で支援の現場に入っている職員が参加している。 ・直接支援に携わる職員が参加している。	特になし	・日々の活動の中で支援の現場に入っている職員が参加している。 ・子どもの状況をよく理解した職員が参加している。 ・支援の現場に入っている職員が参加している。
関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	・定期的に話し合いをする場を設けることで連携を図るようにしている。 ・学校訪問や担当者会議などで定期的に話しをする場を設けることで連携を図っている。	特になし	・定期的に話し合いをする場を設けることで連携を図るようにしている。 ・定期的に話し合いをすることで、全体を通して状況を共有できるようにしている。 ・学校訪問や担当者会議などで定期的に話しをする場を設けることで連携を図っている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0	・学校からの引き渡し時（送迎時）に情報共有をし、必要な連携を取ることが出来ている。 ・担任や、支援級の職員と直接連絡をとり、トラブルなどにも対応出来るようにしている。	特になし	・学校からの引き渡し時（送迎時）に情報共有をし、必要な連携を取ることが出来ている。 ・担任や、支援級の職員と直接連絡をとり、トラブルなどにも対応出来るようにしている。 ・学校送迎時に子どもの様子について情報共有したり、必要に応じて連絡を取り合ったりすることで連携を取っている。 ・学校送迎時に情報共有を行っている。担任や、支援級の職員と直接連絡をとり、支援などは共有を行っている。 ・保護者の方に状況を説明したら学校での様子をデイルボに伝えてくださるよう伝えておきますとおっしゃってくださいました
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	0	・必要に応じて、情報共有を行っている。	特になし	・必要に応じて、情報共有を行うことが出来ている。 ・適宜情報共有を行っている。 ・必要に応じて、情報共有を行っている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	0	・必要な情報を共有することが出来ている。	特になし	・必要な情報を共有することが出来ている。 ・必要に応じて共有している。 ・必要な情報を共有することが出来ている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	0	・必要に応じて研修の機会を設け、連携を取っている。	特になし	・必要に応じて研修の機会を設け、連携を取っている。 ・研修を受けるなどして助言を受ける機会を設けている。 ・研修の機会を設け、連携を取っている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	0	・他の放課後等デイサービスとの交流があり、関わりを増やす機会も設けている。	特になし	・他のデイルボとの交流を行い、関わりを増やす機会を設けている。 ・他の放課後等デイサービスとの交流がある。 ・他の放課後等デイサービスとは交流する機会を持っている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	3	・機会があれば参加したいと考えている。	・積極的に参加できるように、情報の共有も行いながら参加できる機会を作っていく。	・機会があれば参加したい。 ・機会があれば参加したいと考えている。 ・これからは参加出来るようにしていきたい。 ・三浦先生が積極的に勉強し伝達してくれている
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	・送迎時に様子を伝えたり個別で面談を行うことで、共通理解をもてるように情報共有を行っている。 ・保護者から家での様子も聞くようにしている。	特になし	・送迎時に様子を伝えたり個別で面談を行うことで、共通理解を持ちながら、保護者の方が話しやすい環境をつくることも心がけている。 ・子どもの状況を保護者に伝えるだけでなく、家での様子も聞くことで情報共有できている。 ・送迎時にその日の様子を伝えたり個別で面談を行い、共通理解をもって支援を行うようにしている。 ・送迎時に話をすることがあり、大切な情報交換の時間だと感じた
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0	・個別面談や保護者会を行うことで、情報の共有や個別での対応出来るように工夫している。	特になし	・個別面談や保護者会を行うことで、情報の共有や個別での対応出来るように工夫している。 ・面談を行ったり、保護者会を開催したりすることで、個別の相談に応えたり、情報共有をしたりする機会がある。 ・保護者会を通しこれから行うようにしている。 （次回の保護者会の研修の課題 予定） ・家での対応がかわるとかなり違いがでるだろうと感じた。定期的にあると変化が安定するように感じる
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	・契約時に丁寧な説明を行っている。	特になし	・契約時に丁寧な説明を行っている。 ・契約時に説明を行っている。 ・契約時に説明を行っている。
保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	・面談、担当者会議などで子どもや家族の意向を確認した上で、放課後等デイサービス計画を作成している。 ・希望者には毎月の面談を行っている。	特になし	・送迎時や個別の面談、担当者会議などで意向を聞き、確認する機会をつくっている。 ・面談、担当者会議などで子どもや家族の意向を確認した上で、放課後等デイサービス計画を作成している。 ・希望者には、毎月の面談を行っている。 年2回のモニタリングやアセスメントを行い、話をする機会を設けている。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0	・放課後等デイサービス計画を保護者に直接対面で説明を行い、同意を得た上で支援を行っている。	特になし	・支援内容について、保護者に直接対面で説明を行い、同意を得ている。 ・放課後等デイサービス計画を示して説明を行い、同意を得た上で支援を行っている。 ・支援内容などは保護者に直接説明を行い、同意を得ている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	・送迎時などに情報を共有し、必要に応じて個別の面談を行うなど、適切な支援を行うことが出来ている。 ・必要時、電話や面談の機会を設けて相談に応じることで、必要な助言と支援を行っている。	特になし	・送迎時などに情報を共有し、必要に応じて個別の面談を行うなど、適切な支援を行うことが出来ている。 ・送迎時だけでなく、電話や面談の機会を設けて相談に応じることで、必要な助言と支援を行っている。 ・送迎時などに気になる様子などは話をしたり、聞いたりしている。必要な時は、個別の面談を行うなど、適切な支援を行うことが出来ている。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	0	・保護者会を行うことで、情報を共有したり、保護者同士で交流の場を適切に設けることが出来ている。 ・保護者会の開催により、情報共有やきょうだい同士での交流を行っている。	特になし	・保護者会を行うことで、情報を共有したり、保護者同士で交流の場を適切に設けることが出来ている。 ・保護者会の開催により、情報共有やきょうだい同士での交流を行っている。 ・保護者会を行うことで、情報を共有したり、保護者同士で交流の場を設けている。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	・職員間でも情報を共有し、連絡を迅速に取りながら適切に対応することが出来ている。 ・苦情などは上司に報告をし、また職員間で情報を共有し、迅速にまた適切に対応するようにしている。	特になし	・職員間でも情報を共有し、連絡を迅速に取りながら適切に対応することが出来ている。 ・職員間で周知し、迅速かつ適切に対応している。 ・苦情などは上司に報告をし、また職員間で情報を共有し、迅速にまた適切に対応するようにしている。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	・フェイスブックやインスタグラムを活用し、週1回のブログ更新を行って、情報を発信している。 ・月1回カレンダーを発行し、デイルボやLINE等を活用し、情報を伝えている。	特になし	・フェイスブックやインスタグラムを活用し、週1回のブログ更新を行って、情報を発信している。 ・月1回カレンダーを発行し、デイルボやLINE等を活用し、情報を伝えている。 ・通信は毎月発行、SNSは毎週更新している。 ・フェイスブックやインスタグラムを活用し、週1回のブログ更新を行っている。 月1回カレンダーを発行し、デイルボやLINE等を活用し、情報を伝えている。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	・鍵のかかる書庫で個人情報の保管を行ったり、パソコンのセキュリティを強化するなど、十分留意している。 ・SNSに掲載する写真に個人情報が載っていないか複数人で確認したり、個人情報の記載がある書類はシュレッダーで破棄したりなどして、取扱いには十分留意している。	特になし	・鍵のかかる書庫で個人情報の保管を行ったり、パソコンのセキュリティを強化するなど、十分留意している。 ・SNSに掲載する写真に個人情報が載っていないか複数人で確認したり、個人情報の記載がある書類はシュレッダーで破棄したりなどして、取扱いには十分留意している。 ・鍵のかかる書庫で保管している。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	・LINEやデイルボを活用し、情報伝達を迅速に出来るように配慮している。 ・写真でも情報伝達できるように配慮している。	特になし	・LINEやデイルボを活用し、情報伝達を迅速に出来るように配慮している。 ・公式LINEなどを活用し、写真でも情報伝達できるように配慮している。 ・LINEやデイルボを活用し、情報伝達を行っている。障がいのある子どもとは、いろいろなツールを使用するなど配慮を行っている。 ・ホワイトボードを活用している

非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	1	・事業所の行事をチラシをつくらしたり、SNSを活用して発信している。 引き続きSNS等を活用しながら情報の発信を行い、地域の方と関わりの持てるきっかけとなるような活動も行っているようにしている。	・事業所の行事をチラシをつくらしたり、SNSを活用して発信している。 ・事業所の行事に関するお知らせをSNSで発信・するなどしている。 ・事業所の行事をチラシをつくらしたり、SNSを活用して発信している。 ・これから畑などを通してきていくと思われま
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	・マニュアルを作成し、マニュアルに沿った定期的な訓練や研修を行うことが出来ている。	・マニュアルを作成し、マニュアルに沿った定期的な訓練や研修を行うことが出来ている。 ・マニュアルを策定し、発生を想定した訓練や研修を実施している。 ・マニュアルを作成し、マニュアルに沿った定期的な訓練や研修を行っている。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	・BCPを策定し、必要な訓練や研修を定期的に行うことが出来ている。 ・BCPの担当者のチームを作っている。	・BCPを策定し、必要な訓練や研修を定期的に行うことが出来ている。 ・緊急時に職員全体で対応できるように、BCPIに関する研修を実施し、演習も併せて行っている。 ・BCPの担当者のチームを作っている。 BCPを策定し、必要な訓練や研修を定期的に行うことが出来ている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	・服薬の情報など、全体の会議で共有を行うことが出来ている。変更があった場合は、迅速に職員で共有し、子どもの様子の変化が無いが注意深く様子を見ている。	・服薬の情報など、全体の会議で共有を行うことが出来ている。変更などがあつた場合は、迅速に職員で共有できるように、LINEでの申し送りや、会議の場を設けることが出来ている。 ・3子どもの状況を職員間で確認し、服薬の量など変更があつた時も即座に共有し、子どもの様子の変化が無いが注意深く様子を見ている。 ・服薬の情報など、職員の会議で共有を行うことが出来ている。変更などがあつた場合は、その都度、LINEなどを利用し、申し送りが行われている。
	49	食物アレルギーのあることについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	・食物アレルギーの有無を職員間で共有し、該当する場合は医師の指示書に基づいた対応をしている。	・職員間で情報を共有し、該当者がいる場合は指示書に基づいて対応している。 ・食物アレルギーの有無を職員間で共有し、該当する場合は医師の指示書に基づいた対応をしている。 ・職員間で情報を共有し、該当者がいる場合は指示書に基づいて対応している。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	・安全管理に必要な研修や訓練を定期的に行い、職員が常に安全に意識を持ちながら支援が行えるように努めることが出来ている。 ・安全計画の内容を職員間で周知し、研修などを通して安全管理に必要な知識を得ている。	・安全管理に必要な研修や訓練を定期的に行い、職員が常に安全に意識を持ちながら支援が行えるように努めることが出来ている。 ・安全計画の内容を職員間で周知し、研修などを通して安全管理に必要な知識を得ている。 ・安全管理に必要な研修や訓練を定期的に行っている。また、環境も含め、担当職員が点検を行い、常に安全に意識を持ちながら支援が行えるように努めている。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	・避難場所や、緊急時の連絡先などの周知を行い、家族等との連携が図れるように努めることが出来ている。	・避難場所や、緊急時の連絡先などの周知を行い、家族等との連携が図れるように努めることが出来ている。 ・全員の緊急連絡先を避難時持ち出しバッグに入れておき、緊急時でも家族等との連携ができるようにしている。 ・避難場所や、緊急時の連絡先などの周知を行い、家族等との連携が図れるように努めている。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	・ヒヤリハット事例について、係りをつくり事例検証を行い、原因や対策を練って再発防止のために実行している。	・ヒヤリハット事例について、係りをつくり事例検証を行い、職員間で共有することで、再発を防止するよう努めることが出来ている。 ・ヒヤリハットの内容について職員間で周知した上で、原因や対策を練って再発防止のために実行している。 ・ヒヤリハット事例について、係りをつくり「なぜなぜ分析」を行っている。職員間で共有することで、再発防止に努めている。 ・いつでも読めるのでありがたい
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	・虐待防止委員会をつくり、日々の状況把握を行い、定期的な研修を行うことで、職員の意識づくりと適切な対応を学ぶ機会を設けることが出来ている。	・虐待防止委員会をつくり、日々の状況把握を行い、定期的な研修を行うことで、職員の意識づくりと適切な対応を学ぶ機会を設けることが出来ている。 ・虐待防止に関する研修を受講している。虐待防止委員会を設置し、虐待発生事案が無かつたか毎週会議している。 ・虐待防止委員会をつくり、日々の状況把握を行い、定期的な研修を行っている。職員間で「虐待防止」に取り組んでいる。 ・虐待について研修をしている
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0	・身体拘束防止委員会をつくり、定期的な研修を会社全体で行うことで、適切な対応を学ぶ機会を設け、保護者にも文章等で伝えることが出来ている。	・身体拘束防止委員会をつくり、定期的な研修を会社全体で行うことで、適切な対応を学ぶ機会を設け、保護者にも文章等で伝えることが出来ている。 ・身体拘束に関する研修を受講している。身体拘束防止委員会を設置し、身体拘束発生事案が無かつたか毎週会議している。保護者に対しても説明を行っている。 ・身体拘束防止委員会をつくり、定期的な研修を会社全体で行っている。保護者にも文章等で伝えることが出来ている。 ・研修についてわかりやすく話してくれている